

## 令和6年度 医学部解剖慰霊祭が執り行われました

令和6年度の医学部解剖慰霊祭が6月8日にしめやかに執り行われました。学生、医師の教育と研究のために献体された89柱並びに、病気の原因を調べる病理解剖学のために供された17柱の御尊霊に対し、参加者一同により哀悼の意を表しました。

6月8日土曜日にご遺族と来賓、医学部学生、千葉大学教職員、医師、大学院生、千葉白菊会役員で解剖慰霊祭を開催し、さらに6月10日月曜日に献花台を設置して慰霊祭に来場できなかった方々も献花を行いました。

慰霊祭では、医学部学生代表による「感謝のことば」が奉読され、医学のためにお体を捧げられた方々の御霊に対しご冥福をお祈り致しました。

最後に三木医学部長より謝辞が述べられ、滞り無く閉会となりました。

ご遺体の先生とご遺族との数年ぶりとなる再会の場を準備して参りましたが、感謝と敬意を込めてすべての方々をお見送りすることができました。

(文責：環境生命医学 准教授 鈴木崇根)



追悼のことばを述べる三木医学部長



感謝のことばを述べる医学部3年生代表



最後は全員でお見送りできました

\*千葉白菊会・・・千葉大学医学部における医学の教育・研究のために死後自らの遺体を無条件・無報酬の精神で献体する篤志団体です。現在・未来の医学はこの献体制度無くしては成り立ちません。千葉大学医学部として心より感謝申し上げます。

(URL: <https://www.m.chiba-u.ac.jp/dept/shiragikukai/>)